

教育指導の重点

【校訓】 『質実剛健』 （飾り気がなく真面目で、強くしっかりしていること）

【教育目標】

誠実にして強くたくましい心と身体をもち、心豊かな人間性と確かな知識・技術を兼ね備え、創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。

【方針】 『チームワークでつくる！大垣工業の確かな教育力』

- (1) 教育のプロとしての自覚と力量を高め、生徒の生きる力を着実に育成する。
- (2) 組織力を活かして工夫・改善を進め、教育目標の具現化を図る。
- (3) 地域の企業や関係機関等と積極的に連携し、地域社会から信頼される学校を実現する。
- (4) 安心して快適な学習環境の整備に努め、生徒の健康と生命を守る。
- (5) グローバル教育を推進し、世界で活躍できる技術者を育成する。

【指導の重点】

(1) 生徒の学習意欲を高め、確かな力を身に付けさせる教育の推進

- ・各学科の目標に応じて教科間の連関を図った教育課程を構築するとともに、主体的・対話的で深い学びを通して、工業技術者として必要な資質・能力を育成する。
- ・基礎的・基本的な知識・技能の着実な習得を図るとともに、それらを活用する能力を育成し、確固たる学習の基盤を築く。
- ・教科の目標に即した言語活動や、ものづくりなどの課題の発見や解決を通して学習する機会等を充実することにより、社会の変化に対応できる思考力、判断力、表現力を育成する。
- ・到達目標が明確である授業を実施するとともに、目標に準拠した評価を行うことにより、不断の授業改善に努める。
- ・5S運動の推進や授業規律の徹底により、安心・安全で落ち着いた学習環境を構築する。
- ・キャリアタイム等の朝学習や放課後の学習等を通して、個に応じた指導を充実する。

(2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進

- ・学校行事や部活動等における豊かな体験を通して、自己の居場所や役割を実感させるとともに、集団を構成する一員としての責任を自覚させる。
- ・共感的な理解に基づいて、生徒や保護者と望ましい人間関係を構築した上で、是々非々を明確にした指導を行うことにより、倫理観や規範意識を醸成し、自己指導能力を育成する。
- ・交通安全、情報モラル、いじめ防止、薬物防止、自殺防止等に関して積極的に啓発し、自他の生命を尊重する態度や人権感覚を身に付けさせ、問題行動を未然に防止する。
- ・問題行動や不登校等に対して、ケース会議の開催やスクールカウンセラーの活用、外部の専門機関との連携など、組織的な生徒指導により個に応じた支援を充実する。

(3) 一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進

- ・生徒の能力・適性や多様な可能性を理解し、情報提供や面接相談等による適切な進路指導を通して、生徒のキャリア設計能力や自己実現力を育成する。
- ・企業・現場訪問、卒業生と語る会、インターンシップ、企業展等、就業に関わる体験的な学習や外部の教育力を活用した教育活動を通して、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。
- ・学科の特性や希望職種に応じた資格取得を積極的に推進し、高度な専門性を身に付けさせる。
- ・国公立大学進学希望者等に対する進路指導体制を充実し、進学希望者の進路実現を図る。

(4) 地域に開かれた信頼される学校づくり

- ・持続可能な開発に関する教育を行うとともに、工業の学びを活かした社会貢献活動を推進することにより、グローバルな視点をもった地域社会人を育成する。
- ・地域行事への参加や学校公開を推進するとともに、ホームページや報道による情報発信により、工業教育に対する保護者や地域社会の理解を深め、生徒のコミュニケーション能力を高める。

(※) <大工高生5つの心得>の全職員によるあらゆる場面での指導の徹底

- ① 爽やかな挨拶を交わそう
- ② ルールを守ろう
- ③ 授業に集中しよう
- ④ ものづくり・資格取得に挑戦しよう
- ⑤ 部活動で心身を鍛えよう